

第2回 リニア・瑞浪恵那道路・ 新丸山ダム特別委員会

令和6年4月2日（火） 5階 第1委員会室	開会 11 時 45 分 閉会 12 時 04 分
--------------------------	------------------------------

午前11時45分 開会

○委員長（辻 正之君）

皆さん、こんにちは。

大変時間も迫っておりますので、委員長の挨拶はなしで進めたいと思います。

今年1年、リニア特別委員会の委員長を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、ただ今から、令和6年第2回リニア・瑞浪恵那道路・新丸山ダム特別委員会を開会いたします。

それでは、議題に入ります。

○委員長（辻 正之君）

1 委員会活動についてを議題といたします。

本件について、令和6年1年間のリニア・瑞浪恵那道路・新丸山ダム特別委員会の活動内容について、委員会で取り決めていきたいと思います。

先ほど、議会運営委員会にて受理された議長諮問にもありますように、本委員会で取り組む内容・活動を、委員会の総意として決定し、本委員会で調査・研究を重ね、各事業がよりよい事業として推進されるような取り組みを行い、その結果を議会全体で共有することを目標としたいと考えています。

委員の任期は1年のため、令和7年1月までに成果を上げる必要がありますので、委員会で取り組む内容を早急に決定したいと思います。

お手元に配られています、議会運営委員会からの課題についてが付託されました。この内容について、説明をさせていただきます。

1. 瑞浪市に関連する課題における活動について、リニア・瑞浪恵那道路・新丸山ダム事業については、瑞浪市に関連する課題を精査し、課題解決等に取り組むこと。

特に、瑞浪恵那道路事業の道の駅計画関連については、委員会活動として課題を明らかにし、提案・要望など積極的に取り組むことと付託されました。これについて、今年1年取り組んでいきたいと思いますので、よろしく皆さんで御審議をお願いしたいと思います。

そして、このスケジュールにつきましては、リニア道の駅については、スケジュール予定として令和4年度基本計画が策定されました。そして、令和5年から6年度、運営手法及び運営主体等の

検討、そして運営事業者の選定というのが行われます。それで令和6年から7年度、造成設計、造成工事。令和7年から8年度、建設設計、建設工事。令和9年度は、道の駅開園というスケジュールになっています。

事業実施の背景と目的としては、国土交通省において、国道19号瑞浪恵那道路の整備が進められており、本市では新たな道路の開通やリニア中央新幹線の開業を好機と捉え、釜戸町、上平地区内の県道 恵那御嵩線との交差点付近に、道の駅の整備を計画しています。

本施設は、「町とともに育つ道の駅」をコンセプトとし、地域振興や地域活性化の役割を担い、道路利用者への快適なサービスを提供できる本市の新しい交流観光拠点としての整備を進めています。

特に、施設概要としては、約4ヘクタールの敷地に、道路休憩施設、地域振興施設、芝生広場、アウトドア・アクティビティ施設、防災施設、チャレンジ広場などの整備を計画しております。

道の駅の運営方法及び運営主体の検討等を行うため、民間事業者から広く意見・提案を求め、サウンディング型の調査を実施しています。

ということになっておりますので、こういった内容から委員会活動としての課題を明らかにし、提案・要望などに積極的に取り組んでいきたいというふうに思いますので、皆様との委員会活動に取り組んでいきたいと思いますので、よろしくお願いしたいと思います。

以上、説明とさせていただきますが、何か御質問等ありますでしょうか。

○3番（小木曾光佐子君）

良いですか。

○委員長（辻 正之君）

はい。

○3番（小木曾光佐子君）

委員長は今年度は、どういうところをこの道の駅で見ていこうと思ってるんですか。

○委員長（辻 正之君）

今年度は、今、説明しましたような計画に沿って、それが地域との課題に何か結びつくものがあるのかどうか、そういうものを拾い出して提案していきたいなというふうに思いますので、地域とのコミュニケーションですね、そういうものを進めていく必要が出てくるのではないかなというふうに思います。

大久保委員。

○6番（大久保京子君）

では、今その地域とのコミュニケーションを取っていかなきゃいけないということは、今年度のこの特別委員会での活動としては、そういう地域へ入っていったというような、広聴するということですか。

○委員長（辻 正之君）

そうですね、そういったことを進めていったらどうかということで考えておりますけれども、そ

してちょっとその辺の提案とか要望というのをやはり聞いてこないと、行政側の案だけではいけないかなというふうに思いますので、そういった取り組みも必要かなというふうに思っております。

大久保委員。

○6番（大久保京子君）

今までこの常任の委員会を開いて、それで最初は委員長がこういうことを、テーマに関してはこういうことをやりたいと思うんだけどどうですかね、と皆さんに投げかけて、それで本日はほぼほぼ委員長さんの思いがあるテーマで、こういうふうにやっていきましょうということになったんですけれども、この特別委員会に関しては、委員長として今お話にあったような、細部というか、については話されてましたか。

○委員長（辻 正之君）

細部というのは。

○6番（大久保京子君）

細部というか、その私が今ちょっと聞いたことも含めてですよ。地域へ入って行ってそうやって広聴するんだとか。

○委員長（辻 正之君）

そうですね、特にここのところで道の駅の計画、これは行政から今、説明した内容が出ておりまして、これに関連したものについて、地域でどのように今、問題提起されていて、それが課題として出ているのかどうか、これをまず調べて、その結果を提案とか要望にして、積極的に取り組んでいくということが、今回の諮問になると思いますので、それを積極的に取り組んでいきたいなというふうに思っております。

棚町委員。

○2番（棚町 潤君）

先ほどの経済建設委員会の中で、道の駅の取り組みについては、経済建設委員会でも取り組むという話でしたよね。だったんですよ。それで最終的には、辻委員長はその場に当然いらっしゃらなかったのに聞かれてないと思うんですけども、両委員長の中でお話をした上で、どこからどこまでがリニアの委員会がやるのか、どこからどこまでが経済建設がやるのか、地域経済建設がやるのかを話し合ってもらった後に、これ提示していただいたほうが良いんじゃないかなと思いますので、ちょっと議長も含めて御三方でやはり調整していただいて、どこからどこまでをうちの委員会が担当するのかというのを、ちょっと明確にされたほうが良いのかなと思いますので。

○委員長（辻 正之君）

そのところの打合せが、取りあえず。

○2番（棚町 潤君）

まだしてないよね。

○委員長（辻 正之君）

いや、ある程度してまして。

○2番（棚町 潤君）

あ、それならしてありますか。

○委員長（辻 正之君）

まず、地域経済ですか、そちらのほうで取り組む内容としては、視察のほうでまず道の駅というものにどういうモデルがあるのかということ、視察でまず委員会として勉強していきます、ということ。

○6番（大久保京子君）

それはそっちやね。

○委員長（辻 正之君）

地域経済のほうです。

○6番（大久保京子君）

こっちは。

○委員長（辻 正之君）

で、こちらのほうは、釜戸町で取り組んでいるいろいろ、釜戸町のほうでどのような形で駅長として、その道の駅を運営していくのかというようなモデルというか、その内容を精査して、市が計画している内容と、それから地元が思っている内容との互いを洗い出すということですね。これが必要だということで、その課題を出して、それに対してこの委員会で提案をしていくということになってくるということです。そこのすみ分けというのはできているということです。

○3番（小木曾光佐子君）

良いですか。

○委員長（辻 正之君）

はい、3番 小木曾光佐子君。

○3番（小木曾光佐子君）

先ほど説明された、今の道の駅の計画ですね、あれが5年、6年で、運営手法とか運営事業者の選定をするというような段階に今きていて、じゃあこの委員会は、地域の人が何を考えているのかを聞いて提案をしていくということが、運営手法や運営事業者が決まる段階でそれって、何がしを聞いたら良いのかしらというところがあるんですけども。

○委員長（辻 正之君）

そこに非常にギャップがあるみたいでして、要は地元の。

○3番（小木曾光佐子君）

思いと。

○委員長（辻 正之君）

はい、思いと市が思っているものとのギャップがありますので、だから何をどうしていくのか、一例としては、例えばきなあたがありますと。それから道の駅をつくりますと。じゃあそこで売るものを、ちょっと聞いた話ですけども、売るものが重なってはいけないんじゃないかと。

○6番（大久保京子君）

それは最初に書いたらいい。

○委員長（辻 正之君）

そうですね、そういうところの問題もあるわけで、だからそういういろんな課題が出てくると思うんですね、細かいことが。だからそういうことを要望として、課題としてまとめてはどうかなという。

○議長（成瀬徳夫君）

委員長ちょっと良いですか。ちょっと委員長、これ取り間違いをしないかと、私が諮問したのは、瑞浪恵那道路事業のこの道の駅計画の関連については、結局、瑞浪恵那道路は国土交通省が作りますよ、これに対して道の駅を作りますよと。だけど、この道の駅をつくるために、瑞浪恵那道路と道の駅との絡み、この辺を課題にしてくださいよ、ということ。内容じゃないよ。道の駅の内容をああやこうやというのもこちらや。

だから、道の駅をつくるに関して、この道路はある、それに対してこの道の駅ができるんだけど、これに対して地元がどう、何か意見が出ないのということ。この道路、こっちへ回してくれとかそういう話があらへんのという、そういうことのこの辺です。

だから、新しい道の駅をつくらうという気持ちは分かるんだけど、それはこっちで検討せな、内容は。だから、この瑞浪恵那道路に付随した道の駅に関連する部分、この部分に関して研究してくれということです。

○委員長（辻 正之君）

あ、ということで、そういう説明に。

○2番（棚町 潤君）

そういうこと。分かる。

○6番（大久保京子君）

それをちょっと委員長が理解してもらわないと。

○議長（成瀬徳夫君）

そういうことですので。そうするとまた、良いですか、そこまでやっちゃったら大変なことになる。

○5番（榛葉利広君）

すみ分けがちゃんとできてるね。

○2番（棚町 潤君）

そういうこと、いうことにちょっと、細かいところでずれてましたけれども、そういうことで。渡邊委員。

○4番（渡邊康弘君）

今、議長からもありまして、委員長のほうからありました。それで建設委員会としても、先ほどの委員会の中でもありましたけれども、しっかりと協議をして、国道19号に関連する部分に関しま

しては、辻委員長のほうで。それで事業に関しまして、道の駅に関しましては、当委員会で進めていけるように、しっかりと話をまとめていきたいと思いますので、辻委員長もそれですばしく願いたいと思いますので、お願いいたします。

○委員長（辻 正之君）

ちょっと良いですね。それで視察に行かれると思いますので、その時の話なんかもここで共有させていただけたらありがたいと思いますので、お願いしたいと思います。

ほかよろしいでしょうか。

三輪田委員。

○委員（三輪田幸泰君）

この課題解決に向け取り組むことということで、議長諮問からいただいておりまして、当然今のコミュニケーションを取るために、うちの特別委員会は瑞浪恵那道路で、議連ですかね、議連持つって恵那市さんとはある意味パイプ持っておりますので、そこら辺でまたコミュニケーション取らせてもらうというのも、活発にやるのも当然良い話ですし、ましてや南恵那道路に対しての工事進捗ですね、逐一役所のほうに聞きに行くというか、当然、委員長としてお出かけいただくことになると思いますので、そこら辺、情報をいただけましたら、また恵那のほうとやっていただくというのもありますし、また、新丸山ダムのほうについては、これ私が委員長やったときからの懸案でもありますけれども、やはり八百津町さんと太いパイプじゃないですけれども、これ今、道がこちらの五月橋のほうへ行きよりますので、そうしたやはり対岸の行政さんと仲よくやっていくというのも、今後何やかんやある意味良いパイプになると思いますので、そこら辺の構築は1年では難しいことなんですけれども、やはりやっていただけたら、とても瑞浪にとってはプラスになるんじゃないかと思いますので。

なかなか、八百津とは手をつなげるようで、つながりでもなかったんですけれども、つながれるような形でやっていただけると、とても進んでいくかなと思っておりますので、取り組むことということで、それも取り組んでいただければと思います。

○委員長（辻 正之君）

分かりました。貴重な御意見ありがとうございます。そのような方向で、また相談して決めていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

ほかによろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

はい、ありがとうございます。

それではほかに発言もないようですので、令和6年のリニア・瑞浪恵那道路・新丸山ダム特別委員会での委員会活動については、今の話とさせていただきます。

今後のスケジュール、計画作成については、委員長に一任をいただくことをお願いしたいと思います。スケジュール等、作成しましたら、委員会開催、そして委員の皆さんに配付をしていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

○委員長（辻 正之君）

次に、2 その他を議題としますが、何かありませんでしょうか。

○委員（三輪田幸泰君）

議連の大会はまだ決まってませんか。

○委員長（辻 正之君）

5月、7月あたりだと思います。まだ僕のほうに来ておりませんので、お願いします。

ほか、よろしいでしょうか。

○委員長（辻 正之君）

別段発言もないようですので、以上をもちまして、令和6年第2回リニア・瑞浪恵那道路・新丸山ダム特別委員会を閉会いたします。

ご苦労様でした。

午後0時04分 閉会